

広島県代協

広島県代協(井手秀樹会長)は、5月23日13時30分から、広島市中区の損保ジャパン広島支店2階会議室で、第17回(第18期)定時総会ならびに記念公演を開催した。総会では3年度連続で事業目標を達成したことが報告された。また、記念講演では、日本代協の藤山裕介理事(株式会社集成社取締役社長)が「代協の歴史と必要性」をテーマに日本代協が設立された経緯から組織目的、そして未来を見据えた場合のその必要性について熱弁をふるった。

3年度連続で事業目標を達成

第17回(第18期)定時総会と記念講演を開催



総会の様子

総会では松尾晃宏理事の司会進行。近藤展弘副会長が倫理綱領を朗読した後、井手会長が、「昨年度は皆さまのご努力のおかげで、事業目標を達成することが報告された。また、記念講演では、日本代協の藤山裕介理事(株式会社集成社取締役社長)が「代協の歴史と必要性」をテーマに日本代協が設立された経緯から組織目的、そして未来を見据えた場合のその必要性について熱弁をふるった。



井手会長

業務品質をレベルアップ 信頼を一層確かなものに!!

お陰で事業年度目標を達成することが報告された。また、記念講演では、日本代協の藤山裕介理事(株式会社集成社取締役社長)が「代協の歴史と必要性」をテーマに日本代協が設立された経緯から組織目的、そして未来を見据えた場合のその必要性について熱弁をふるった。

「日ごろから中小企業向けにリスク啓発を目的としたセミナーを開催、地震保険など自然災害に備える啓発活動や交通安全運動など連携した取り組みに対し厚くお礼申し上げます。今年4月から当協では組織改編を行い、中国・四国支部が発足し、所管地域が広がったが、これまで以上に業界活動を推進し、お客様から信頼をいただける活動を積極的に進めていく。『集い、語り、高め合う』をスローガンに、皆さまの成長に力を添えをお願いします。

当協会は、保険募集にあたって代理店の皆さまが順守すべきことを整理し、分かりやすく解説している『募集コンプライアンスガイド』を作成した。お客様本位の業務運営に向けてさらなる徹底に向けてご確認いただきたい。損害保険トータルプランナーについては、今年3月末時点で1万6857名が登録し、活躍いただいている。当協会は損害保険トータル

ランナーの称号が信頼の証として広く認知されるよう、引き続き周知に努める。当協会の公式YouTubeチャンネルでは、消費者向けに損害保険トータルプランナーに関する紹介動画を公開している。皆さまも機会があればご利用いただければ幸いです。また、日本代協の歴史と必要性」をテーマに記念講演を行った。025年度通常総会を横浜市ロイヤルホールコハマで開催した。総会では2024年度事業報告や2025年度事業計画など5つの付議事項が審議され、いずれも可決となった。

総会審議に先立ち挨拶した三ヶ尻会長は「代協の歴史と必要性」をテーマに記念講演を行った。025年度通常総会を横浜市ロイヤルホールコハマで開催した。総会では2024年度事業報告や2025年度事業計画など5つの付議事項が審議され、いずれも可決となった。

神奈川代協 25年度通常総会を開く

選ばれる代理店になる!! 自律し、切磋琢磨することが大切

神奈川代協(三ヶ尻明 会長)は5月21日、2025年度通常総会を横浜市ロイヤルホールコハマで開催した。総会では2024年度事業報告や2025年度事業計画など5つの付議事項が審議され、いずれも可決となった。総会審議に先立ち挨拶した三ヶ尻会長は「代協の歴史と必要性」をテーマに記念講演を行った。025年度通常総会を横浜市ロイヤルホールコハマで開催した。総会では2024年度事業報告や2025年度事業計画など5つの付議事項が審議され、いずれも可決となった。

顧客本位の業務運営を徹底



藤山理事

村松輝昭副会長が「代理店品質を維持するためには体制整備をしっかりと行うことが大切だ。そのためにはリスクマネジメントを強化し、信頼の力」が重要であり、日本代協には「集い、語り、高め合う」すべてのツールがある」と締めくくった。



三ヶ尻会長

次いで、来賓から損害協会神奈川損保会会長の今井栄太氏(東京海上日動)が挨拶した。続いて両氏は、5月12日に金融庁が保険会社向けの総合的な監督指針の一部改正案を公表したことについて言及した。



イベント会場の様子

総会後は第二部としてイベントを開催。神奈川代協の提携・賛助会員を一堂に集め、会員代理店に向けて各社のサービス内容を紹介するPRの場を設けた。当日は生損保会社や事業者など19の提携・賛助会員が参加し盛り上げた。